

2023年8月9日

各位

会社名 株式会社フォーサイド
代表者名 代表取締役 根津 孝規
(東証スタンダード・コード2330)
問合せ先 常務取締役 飯田 潔
電話 03-6262-1056

第三者割当による新株式発行及び主要株主の異動に関するお知らせ

当社は、2023年8月9日開催の取締役会において、大島正人氏を割当予定先とする、第三者割当による新株式（以下「本新株式」といいます。）を発行すること（以下「本第三者割当」といいます。）について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本第三者割当の引受けに伴い、大島正人氏は、当社の主要株主に該当することが見込まれますので、併せてお知らせいたします。

I. 第三者割当による新株式発行

1. 募集の概要

| | |
|-------------|--------------------------------------|
| (1) 払込期日 | 2023年8月25日 |
| (2) 発行新株式数 | 普通株式5,130,000株 |
| (3) 発行価額 | 1株につき金79円 |
| (4) 調達資金の額 | 405,270,000円 |
| 募集又は割当方法 | 第三者割当の方法によります。 |
| (5) (割当予定先) | 大島正人 5,130,000株 |
| (6) その他 | 上記各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とします。 |

2. 募集の目的及び理由

(1) 募集の目的

当社グループは、2000年3月の創業から、デジタルコンテンツの配信を基軸事業として展開し、2014年11月には、持株会社体制へ移行することで、経営機能と執行機能を明確に分離し、コーポレートガバナンスの強化に努めてまいりました。また、積極的にM&Aや新規事業展開を推進し、2017年3月には株式会社ブレイクを子会社化し、クレーンゲーム機等のプライズゲーム用品の企画・製作・販売等を開始しております。さらに、2017年6月には日本賃貸住宅保証機構株式会社を子会社化し、家賃保証業務を開始しており、これらM&Aにより取得した事業が現在の当社グループの主力事業にまで成長しております。

しかしながら、当社グループを取り巻く経営環境は刻々と変化しており、新型コロナウイルス感染症の長期的な流行による経済活動の停滞やロシア・ウクライナ情勢に端を発した資源価格の高騰、急激な為替変動による仕入コストの上昇等、厳しい経営環境が続く中、先行きについても依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループの業績は、2021年12月期に4期ぶりの黒字化を果たしたものの、2022年12月期においては、営業収益4,988百万円、営業損失75百万円、経常損失74百万円、親会社株主に帰属する当期純損失107百万円を計上することとなりました。

こうした状況を改善するため、当社グループの経営資源の選択と集中を目的として、回復の見込みが立たない投資銀行事業及び音楽関連事業に属するフォーサイドフィナンシャルサービス株式会社及び株式会社マー

ベラスアークの株式を2023年1月1日付で全株式譲渡いたしました。これら赤字事業から撤退することにくわえ、主力事業であるプライズ事業及び不動産関連事業における収益力強化を図ることで、2023年12月期通期の黒字化を見込んでおります。

一方で、当社グループが今後さらなる成長を実現するためには、プライズ事業及び不動産関連事業の経営成績にグループ全体の業績が左右されないよう、事業リスクの分散を進め、新たな柱となる事業の創出が必要不可欠であると認識しております。その取り組みの一助として、2019年7月に小中学生向けファッション誌「Cuuga1」の発刊、2021年8月には株式会社角川春樹事務所からティーン向けファッション誌「Popteen」事業を譲り受ける等、出版事業に参画し、新たな事業領域の拡大に挑戦してまいりました。しかしながら、Popteen事業においては、雑誌販売数の減少及び紙代・印刷代の高騰等により、2期連続で営業損失を計上しており、当初想定していた収益計画に遅れが生じております。そのため、経営改善に向けた積極的な立て直しに努め、2023年3月号より月刊誌から「いつでも、誰でも、無料」で読める「WEBマガジン」へとリニューアルし、デジタルネイティブ世代の生活にさらに寄り添い、トレンドを追い求める女子中高生に、よりスピーディーに情報提供ができるようになりました。これにより、競争力強化を図り、収益基盤の確立に努めていますが、当面の事業資金の確保が喫緊の課題となっております。また、Popteen事業の取得対価及び取得後のPopteen事業の運転資金、並びに株式会社角川春樹事務所の株式取得代金に充当することを目的に、2021年6月30日付で株式会社オータス（住所：東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号、代表取締役：竹谷治郎、以下「オータス社」といいます。）より200百万円の借入を行っておりますが、上述のとおり、Popteen事業の収益計画に遅れが生じており、営業キャッシュフローもマイナスの状況が続いていることから、当初の返済期限は2022年3月31日であったものの、オータス社との合意の上、返済期限を延長する覚書を締結いたしました。延長後の返済期日（2023年8月31日）もせまっております。くわえて、株式会社ポップティーンにおいて、Popteen事業の運転資金に充当することを目的に、株式会社きらぼし銀行（以下「きらぼし銀行」といいます。）より2021年8月18日付で50百万円、2022年5月13日付で10百万円の借入を行っておりますが、2期連続で営業損失を計上し、2023年12月期第1四半期末時点（2023年3月31日時点）で純資産が△21百万円と債務超過であることから、借入金の前倒し返済を求められる可能性も十分にあるため、早期の財務体質の改善が急務となっております。

なお、当社グループ間での資金融通を検討いたしましたが、2023年6月30日現在、当社グループの現預金は1,212百万円であり、これらの大部分は各事業における事業性資金であり、本事業性資金を他の事業の運転資金や借入金の返済に回すことは難しいと判断いたしました。

このような状況を勘案し、当社グループの業績改善及び財務体質の改善・強化を図るため、第三者割当による新株式の発行による資金調達を選択いたしました。本第三者割当による資金使途として本資本投下を実施することで、当社グループの事業拡大につながり、企業価値及び株式価値の向上を図ることができるものと判断しております。

（2）当該資金調達の方法を選択した理由

当社は、資金調達の方法について、既存株主の利益に配慮しながらも、金融機関からの借入、公募増資、株主割当増資等を含めた各種資金調達方法について慎重に比較検討した結果、本第三者割当を選択することが、当社の必要とする資金調達の確実性が最も高く、現時点において最適な資金調達方法であるとの結論に至りました。以下は、具体的な検討内容となります。

① 金融機関からの借入

金融機関からの借入は、当社の過去の決算状況及び現在の財務状況を鑑みて、新規融資を受けることは困難であると判断し、今回の資金調達方法から除外することといたしました。

② 公募増資

公募増資による株式の発行は、一度に資金調達が可能となるものの、市場環境や当社の現在の業績の状況等を考慮すると、必要な資金が調達できるかは不透明であります。また、公募増資は一般的に株式を発行するまでの準備期間が長く、調達金額に比べてコストも高いこと等から、今回の資金調達方法として適当でないと判断

いたしました。

③ 株主割当増資

株主割当増資では、割当予定先である株主の応募率が不透明であり、当社としてどの程度の金額の資金の調達が可能なのかの目処を立てることが非常に困難であることから、今回の資金調達方法として適当でないと判断いたしました。

④ 社債の発行

社債の発行は、当社の過去の決算状況及び現在の財務状況を鑑みて、引受先を見つけることは困難であると判断し、今回の資金調達方法から除外することといたしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

| | |
|-------------|--------------|
| ① 払込金額の総額 | 405,270,000円 |
| ② 発行諸費用の概算額 | 5,000,000円 |
| ③ 差引手取概算額 | 400,270,000円 |

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、登記費用、弁護士費用、割当予定先調査費、有価証券届出書作成費用、証券代行手数料等を見込んでおります。

3. 調達資金を実際に支出するまでは、当社預金口座で適切に管理する予定であります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

本第三者割当により調達する資金の具体的な使途については、次のとおりです。

| 具体的な使途 | 金額(百万円) | 支出予定時期 |
|-----------------------|---------|-----------------|
| ① 借入金返済資金 | 201 | 2023年8月 |
| ② 株式会社ポップティーンの借入金返済資金 | 40 | 2023年8月～2029年4月 |
| ③ Popteen事業の運転資金 | 159 | 2023年8月～2024年7月 |

①借入金返済資金

本第三者割当により調達する資金のうち201百万円については、早期の財務体質の改善に向け、オータス社からの以下の借入金の全額返済に充当する予定であります。

| | |
|-------|---|
| 借入先 | 株式会社オータス(事業内容:投資事業、本店所在地:東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号、代表者役職氏名:代表取締役 竹谷治郎) |
| 借入実行日 | 2021年6月30日 |
| 返済期日 | 2023年8月31日 |
| 借入金額 | 200百万円(2023年8月9日残高190百万円) |
| 利率 | 4.5% |
| 未払利息 | 11百万円(2023年8月9日現在) |
| 担保 | 株式会社ポップティーンの株式 |
| 資金使途 | ・Popteen事業の事業取得対価 ・取得後のPopteen事業の運転資金 ・株式会社角川春樹事務所の株式取得代金 |

②株式会社ポップティーンの借入金返済資金

本第三者割当により調達する資金のうち40百万円については、当社の連結子会社である株式会社ポップティーンの借入金返済資金に充当する予定であります。2023年3月31日現在、株式会社ポップティーンの純資産は△21百万円となっており、2023年12月期中間期末時点(2023年6月30日時点)においても、債務超過額は拡大する見込みであり、債務超過の解消及び早期の財務体質の改善を喫緊の課題としております。そのた

め、債務超過を解消するために40百万円を資本性資金として注入し、具体的な用途については、きらぼし銀行からの以下の借入金の毎月の返済に充当する予定であります。

| | |
|-------|-------------------------|
| 借入先 | 株式会社きらぼし銀行 |
| 借入実行日 | 2021年8月18日 |
| 返済期日 | 2028年8月18日 |
| 借入金額 | 50百万円（2023年8月9日残高36百万円） |
| 利率 | 1.5% |
| 未払利息 | 0百万円（2023年8月9日現在） |
| 担保 | なし |
| 資金使途 | Popteen事業の運転資金 |

| | |
|-------|------------------------|
| 借入先 | 株式会社きらぼし銀行 |
| 借入実行日 | 2022年5月13日 |
| 返済期日 | 2029年4月30日 |
| 借入金額 | 10百万円（2023年8月9日残高8百万円） |
| 利率 | 1.5% |
| 未払利息 | 0百万円（2023年8月9日現在） |
| 担保 | なし |
| 資金使途 | Popteen事業の運転資金 |

③Popteen事業の運転資金

本第三者割当により調達する資金のうち159百万円については、Popteen事業の運転資金に充当する予定であります。当社は、2021年8月に「Popteen」事業を譲り受けましたが、雑誌販売数の減少及び紙代・印刷代の高騰等により、2期連続で営業損失を計上しており、事業収益による全ての運転資金の捻出が難しく、現在の手許資金残高（2023年6月30日現在、株式会社ポップティーンの現預金残高は6百万円）のみでは運転資金を支払うための資金が不足しております。また、経営改善に向けた積極的な立て直しに努めており、2023年3月号より「Popteen」は月刊誌から「WEBマガジン」としてリニューアルし、紙代・印刷代を含む制作コストの大幅な減少を実現しておりますが、「WEBマガジン」へ移行して間もないこともあり、クライアントからの広告発注は限定的なものとなっております。そのため、ネイティブ広告やSNS広告を活用し、WEB広告への出稿指標の一つであるページビューの更なる積み上げ、営業力強化のための人員増強を図っていくことにより広告発注の増加を見込んでおりますが、安定的に広告売上を計上するまでには一定期間を要するものと考えております。そのため、当面（2023年8月から2024年7月）の運転資金として、人件費77百万円、地代家賃9百万円、広告宣伝費36百万円、WEB記事制作費24百万円、その他諸経費等13百万円に充当する予定であります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当により調達した資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することで、今後の当社の中長期的な企業価値の向上に寄与するものであることから、本新株式の発行は既存株主の皆様利益にも資するものと考えております。

5. 発行条件等の合理性

（1）払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本新株式の発行価額は、割当予定先との協議により、本新株式の発行に係る取締役会決議の前営業日（2023年8月8日）における株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）が公表した当社普通株式の終値に0.92を乗じた金額である79円といたしました。

取締役会決議の前営業日の終値を基準とした理由につきましては、直近の株価が現在の当社の企業価値を適正に反映していると判断したためです。

当該金額を採用することとした理由につきましては、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する

指針」(2010年4月1日 日本証券業協会)に準拠していること、割当予定先は発行決議日から払込期日までの2週間における株価下落リスクを甘受せざるを得ない立場にあること、本新株式発行によって迅速かつ確実に資金調達を行うこと等も総合的に勘案し、ディスカウント率含め、割当予定先とも十分に協議の上、本新株式の発行価額を決定いたしました。

なお、本新株式の発行価額は本新株式の発行に係る取締役会決議の前営業日(2023年8月8日)までの直前1ヶ月間(2023年7月10日から2023年8月8日まで)の当社普通株式の終値単純平均である79円(小数点以下を四捨五入。以下、株価の計算について同様に計算しております。)に対して、プレミアムなし(小数点以下第三位を四捨五入。以下、株価に対するプレミアム率の数値の計算について同様に計算しております。)、同直前3ヶ月間(2023年5月9日から2023年8月8日まで)の終値単純平均である77円に対して、2.60%のプレミアム、同直前6ヶ月間(2023年2月9日から2023年8月8日まで)の終値単純平均である73円に対して、8.22%のプレミアムとなる金額です。当該発行価額は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠するものであり、割当予定先に特に有利なものとはいえず、合理的なものとして判断しております。

また、当社の監査等委員である取締役3名(うち3名は社外取締役)からは、本新株式の発行価額は、当社株式の価値を表す客観的な指標である市場価格を基準にしており、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠していることから、割当予定先に特に有利な金額には該当せず、本新株式の発行手続きは適法である旨の意見をいただいております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により割当予定先に対して割り当てられる本新株式数は5,130,000株(議決権個数51,300個)であり、2023年6月30日現在の当社発行済株式総数32,557,704株(議決権個数320,415個)に対し15.76%(議決権ベースは16.01%)の割合で希薄化が生じます。

しかしながら、当社といたしましては、このような希薄化が生じるものの、上記のとおり、本資金調達により調達した資金を上記の資金使途に充当することにより、当社の事業基盤を強固・拡大させ、当社の中長期的な企業価値及び株主価値の向上を図ることができ、本資金調達はそれに伴う希薄化を考慮しても既存株主の皆様にも十分な利益をもたらすことができると考えていることから、発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

| | |
|-------------------|--------------|
| (1) 氏名 | 大島 正人 |
| (2) 住所 | 大阪府大阪市中央区 |
| (3) 職業の内容 | 株式会社エストラボ 会長 |
| (4) 上場会社と当該個人との関係 | 該当事項はありません。 |

※当社は、大島正人氏より、反社会的勢力とは一切関係がないことの説明を受けております。また、当社は、株式会社セキュリティー&リサーチ(東京都港区赤坂二丁目16番6号、代表取締役社長:羽田寿次)から、大島正人氏と反社会的勢力との関与の事実が確認されなかった旨の調査報告書を受領しております。以上に基づき、大島正人氏が反社会的勢力とは一切関係がない旨の確認書を東京証券取引所に提出しています。

(2) 割当予定先を選定した理由

大島正人氏は、業務用脱毛器の販売を手掛ける、株式会社エストラボ(住所:東京都新宿区新宿三丁目1番13号京王新宿追分ビル9階、代表取締役:久保瞳)の創業者兼会長であります。また、関係会社の株式会社メディビューティー(住所:奈良県磯城郡田原本町大字阪手666-1、代表取締役:久保瞳)では、エステサロン「LACOCO」を全国95店舗運営する等、美容関連事業を主業とするグループでございます。当社は、大島正人氏と当社取締役泉信彦が旧知の知人であったことから、2023年5月初旬ごろに、当社の資金調達について相談し、協議を重ねる中で、当社の事業展開及び今後の成長性についてご理解をいただき、出資の申し入れが

あったため、割当予定先として選定いたしました。

(3) 割当予定先の保有方針

本新株式について、当社と大島正人氏の間で継続保有及び預託に関する法的な取り決めはありませんが、大島正人氏からは、本新株式の保有方針は、長期保有であることを当社に対して口頭にて表明しております。なお、当社は、大島正人氏から、払込期日から2年以内に本第三者割当により発行される本新株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対し書面により報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、大島正人氏が本新株式に必要な資金について、大島正人氏のご息女が代表取締役を務める株式会社メディビューティー及び大島正人氏の配偶者である大島豊子氏からの借入により調達していることを預金通帳及び金銭消費貸借契約書の写しの提出を受け、本新株式の発行価額の払込みに足る預金を保有していることを確認しております。また、大島正人氏より、株式会社メディビューティー及び大島豊子氏が反社会的勢力とは一切関係がないことの説明を受けたほか、株式会社セキュリティ&リサーチから、株式会社メディビューティー及び大島豊子氏と反社会的勢力との関与の事実が確認されなかった旨の調査報告書を受領しております。なお、株式会社メディビューティーからの借入金額は350百万円、返済期日は2028年7月18日、利率1.3%、担保及び保証は設定しないこと、大島豊子氏からの借入金額は60百万円、返済期日は2028年7月18日、利率1.3%、担保及び保証は設定しないことを金銭消費貸借契約書の写しから確認しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

| 募集前 (2023年6月30日現在) | | 募 集 後 | |
|----------------------|-------|----------------------|--------|
| R-1 第1号投資事業有限責任組合 | 9.86% | 大島 正人 | 13.62% |
| R-1 合同会社 | 6.45% | R-1 第1号投資事業有限責任組合 | 8.52% |
| 株式会社SBI証券 | 2.63% | R-1 合同会社 | 5.58% |
| 楽天証券株式会社 | 2.42% | 株式会社SBI証券 | 2.27% |
| 株式会社ONODERA ホールディングス | 1.84% | 楽天証券株式会社 | 2.09% |
| 西本 誠次 | 1.39% | 株式会社ONODERA ホールディングス | 1.59% |
| 松井証券株式会社 | 1.35% | 西本 誠次 | 1.20% |
| 及川 博之 | 1.17% | 松井証券株式会社 | 1.17% |
| SMBC日興証券株式会社 | 1.12% | 及川 博之 | 1.01% |
| オーエスシーエンジニアリング株式会社 | 0.74% | SMBC日興証券株式会社 | 0.97% |

※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除し、小数点第3位を四捨五入して表示しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当による当社の業績への影響は、軽微であると判断しておりますが、今後、公表すべき事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見の入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績 (連結)

| | 2020年12月期 | 2021年12月期 | 2022年12月期 |
|--|-----------|-----------|-----------|
|--|-----------|-----------|-----------|

| | | | |
|-------------------------|--------------|--------------|--------------|
| 連 結 売 上 高 | 4,033,481 千円 | 4,894,414 千円 | 4,988,151 千円 |
| 連 結 営 業 利 益 | △105,009 千円 | 187,076 千円 | △75,358 千円 |
| 連 結 経 常 利 益 | △49,688 千円 | 182,443 千円 | △74,510 千円 |
| 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 | △348,710 千円 | 85,850 千円 | △107,817 千円 |
| 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 | △10.72 円 | 2.64 円 | △3.31 円 |
| 1 株 当 たり 配 当 金 | — | — | — |
| 1 株 当 たり 純 資 産 | 33.16 円 | 35.76 円 | 32.44 円 |

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況 (2023年8月9日現在)

| | 株 式 数 | 発行済株式数に対する比率 |
|----------------------------------|--------------|--------------|
| 発 行 済 株 式 数 | 32,557,704 株 | 100.00% |
| 現時点の転換価額（行使価額）に おける 潜 在 株 式 数 | — | — |
| 下限値の転換価額（行使価額）に おける 潜 在 株 式 数 | — | — |
| 上限値の転換価額（行使価額）に おける 潜 在 株 式 数 | — | — |

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

| | 2020年12月期 | 2021年12月期 | 2022年12月期 |
|-----|-----------|-----------|-----------|
| 始 値 | 146 円 | 78 円 | 106 円 |
| 高 値 | 151 円 | 155 円 | 107 円 |
| 安 値 | 59 円 | 77 円 | 63 円 |
| 終 値 | 78 円 | 106 円 | 67 円 |

② 最近6か月間の状況

| | 2023年 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|-----|-------------|------|------|------|------|------|
| 始 値 | 65 円 | 70 円 | 70 円 | 70 円 | 72 円 | 84 円 |
| 高 値 | 74 円 | 88 円 | 70 円 | 79 円 | 85 円 | 85 円 |
| 安 値 | 64 円 | 66 円 | 66 円 | 67 円 | 69 円 | 75 円 |
| 終 値 | 69 円 | 69 円 | 69 円 | 72 円 | 85 円 | 79 円 |

③ 発行決議日前営業日における株価

| | 2023年8月8日 |
|-----|-----------|
| 始 値 | 84 円 |
| 高 値 | 87 円 |
| 安 値 | 84 円 |
| 終 値 | 86 円 |

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

11. 発行要領

| | |
|-----------------|---------------------------------------|
| (1) 募集株式の数 | 普通株式5,130,000株 |
| (2) 払込金額 | 1株につき金79円 |
| (3) 払込金額の総額 | 405,270,000円 |
| (4) 増加する資本金の額 | 202,635,000円 |
| (5) 増加する資本準備金の額 | 202,635,000円 |
| (6) 申込期日 | 2023年8月25日 |
| (6) 払込期日 | 2023年8月25日 |
| (7) 募集又は割当方法 | 第三者割当の方法によります。 |
| (8) 割当予定先 | 大島 正人 5,130,000株 |
| (9) その他 | 上記各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とします。 |

II. 主要株主の異動

1. 異動が生じた経緯

本第三者割当に伴い、大島正人氏は当社の議決権の 13.80%を保有することになるため、同氏が新たに当社の主要株主となる予定です。

2. 異動する株主の概要

大島正人氏の概要につきましては、上記「I. 第三者割当による新株式発行 6. 割当予定先の選定理由 (1) 割当予定先の概要」に記載のとおりです。

3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

| | 議決権の数 (所有株式数) | 総株主の議決権の 数に対する割合※ | 大株主順位 |
|-------------------------|-------------------------|----------------------|-------|
| 異 動 前 (2023年6月30日現在) | 0個 (0株) | 0.00% | — |
| 異 動 後 | 51,300個 (5,130,000株) | 13.80% | 第2位 |

- ※1. 異動前の議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 516,204株
2023年6月30日現在の発行済株式数 32,557,704株
2. 異動後の議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数 516,204株
3. 総株主の議決権の数に対する割合は、小数点第3位を四捨五入しております。
4. 異動後の大株主順位については、R-1 第1号投資事業有限責任組合及びその共同保有者より提出された大量保有報告書（変更報告書）に基づいて記載しており、当社として現在の共同保有状況が確認できたものではありませんが、2023年6月30日現在の株主名簿を基準に当社において大株主順位を推定したものです。

4. 異動予定年月日

2023年8月25日（予定）

5. 今後の見通し

本異動に伴う当社の経営体制及び業績等への影響はありません。

以 上